

追跡 ありやあどうなった?

一年前の主要事業が、今はどうなっているか? 追跡しました

ケーブルテレビ(CATV)事業本格着手!

ケーブルテレビ事業については、本年度当初予算では、調査・設計費用の予定でありましたが、国の大型補正予算の活用により9月議会で、今年度から工事を行う予算化を行い、本格的に事業の着手を行うこととなりました。現在、自治振興会や班を対象とした説明会が開催されています。この説明会では、サービスの内容や、料金体系など詳細な説明行われています。

ケーブルテレビは、「告知放送の統一」、「テレビ難視聴地域の解消」「高速インターネット利用環境整備」など、神石高原町内全域、全戸を対象とした整備を行います。

これまでの経過

H21. 7月31日	神石高原町地域情報通信基盤整備事業計画・設計・積算業務委託契約締結 契約先 地域・ケーブルジョイ共同企業体
8月26日	神石高原町地域情報通信基盤整備事業運営事業者選定に係る提案募集開始
9月14日	神石高原町地域情報通信基盤整備事業者選定委員会 「運営事業者選定委員会」
9月17日	一般会計補正予算に20億730万円を計上
9月25日	「情報サービス提供業務」基本事項協定締結 <協定先: 株式会社ケーブル・ジョイ>
10月15日	各地区自治振興会連絡協議会支部会議で説明会の開催依頼 10月から11月中旬に31自治振興会単位での説明会(班単位説明会開催日程調整依頼) 12月から平成22年3月末までに班単位の説明会開催(218班を対象とした説明会開催予定) 12月は油木地域34会場での説明会実施
12月	ケーブルテレビについての加入分担金、工事分担金条例が定められ、平成22年9月末までに加入された一般世帯は、これらが免除になります。



CATV説明会

これからの予定

地域説明会の内容は、わかりやすいようにビデオなど利用した説明会です。
1月・・・神石地区55班を対象 2月・・・豊松地区49班を対象 3月・・・三和地区62班を対象
とした説明会開催が予定されています。みなさん説明会に参加しましょう。

議員発議

議員発議

- 国や県に 意見書を 提出しました**
- 〔子育て応援特別手当〕の執行停止の理由を明確にし、復活させること。
提出者…寄秀秀幸 賛成者…小川清治
 - 平成21年度補正予算において、地域経済に及ぼす事業は執行停止しないこと。
提出者…木野山孝志 賛成者…片山元八郎
 - 障害者自立支援法の完全廃止を求める意見書
提出者…松本彰夫 賛成者…村上克朗
 - 地域活性化・公共投資臨時交付金)の一部執行停止について、これにかわる新たな措置を講ずること。
提出者…村上克朗 賛成者…橋本輝久
 - 地域医療再生臨時交付金は執行停止しないこと。
提出者…村上克朗 賛成者…橋本輝久
 - 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等、求める意見書
提出者…村上克朗 賛成者…橋本輝久
 - 平成22年度をもって多くの関係市町村で期限をむかえる水力交付金
提出者…村上克朗 賛成者…橋本輝久
 - 被爆国日本が世界中の国々、世界中の人々から寄せられている期待の大きさを踏まえ、「非核三原則」を国是として掲げるのではなく、その法制化を早期に図ること。
 - 特定農業者団体「時有機百笑会」(長崎県東彼杵郡波佐見町) 「株式会社鳴神の庄」(佐賀県唐津市七山)

町立病院の医療体制の確立と安定運営を目指して

神石高原町地域医療を見守る 特別委員会

調査研究目的

「神石高原町立病院」の運営について先進地事例を調査研究し、本町の医療体制の確立と長期的な安定経営に資するため。

調査研究日

平成21年11月18日～19日

調査研究場所

○県立柏原病院と柏原病院小児科を守る会(兵庫県)
○医療法人財団新大江病院(京都府)

調査結果

☆県立柏原病院は、病床数303床で医師数は21人。丹波市には、柏原赤十字病院もあるが、兵庫県は、地域の中核病院として、県立病院は必要であるという方針で、年間30億円近い赤字を出しながらも、運営している。

また、柏原病院小児科を守る会は、小児科の医師が減る事に危機感を持った母親達が中心に組織。活動は、単に医師の確保だけでなく、市民も、医師の勤務実態を理解し、「コンビニ受診を止めよう」「お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう」と、医師の働きやすい地域を作ろうと市民に呼びかける活動を展開。その結果小児科医が5人体制となった。

まとめ
病院の運営は、医師の確保と病院を支える、町や住民の体制が必要と感じた。



病院視察

調査結果

時有機百笑会は、20年間放置されていたミカン園約4haを開墾し、有機無農薬栽培による野菜生産で成果をあげている。

まとめ

荒廢地の再生は多くの資金と労力が必要であり、本町ではこれ以上耕作放棄地が増えないよう、守ることが重要である。

産業建設 常任委員会報告

調査目的

耕作放棄地の解消と、産直市場の活性化に資するため。

調査月日

平成21年10月29日～30日

調査場所

○特定農業者団体「時有機百笑会」(長崎県東彼杵郡波佐見町) 「株式会社鳴神の庄」(佐賀県唐津市七山)

産直市場においては、消費者ニーズの把握と情報の発信により、出荷協議会を活性化させることが農家所得の向上につながるかと考える。